

福祉の仕事体験バスツアーで県立広島大学（三原）と福祉施設を訪問しました。
(8/2)

あすなる会の生徒23名は、「県立広島大学三原キャンパス」と「泰清会サンライズ港町／さんさんみなと保育園」を訪問しました。

県立広島大学では、理学療法学科、作業療法学科、看護学科、コミュニケーション障害学科、人間福祉学科の5つの学科を案内していただき、医療や福祉の専門職の方から直接お話を聞くことができました。

大学内の食堂で日替わりランチをいただき、午後からは「泰清会サンライズ港町／さんさんみなと保育園」を訪問しました。ここは広島ではまだ少ない、高齢者施設と保育園が一体となっている福祉施設です。職員の方に仕事のやりがいなどの質問に答えていただきました。施設見学をした後、デイサービスの利用者さんと交流しました。最後は一人ひとりの方と握手をしてお別れしました。

○生徒の感想より

- ・大学訪問では、全ての学科で実習を通して相手の立場を体験することで、身をもって課題を解決するよう工夫されていることが分かりました。就職率の高さはこうした実習が多くあるからだと思います。
- ・福祉関係の仕事は、とてもやりがいがあると改めて思いました。現場の方から「コミュニケーションが大切」ということを教わったので、コミュニケーション能力を高められるようにしたいと思いました。

